

ロボットと暮らす未来社会&ロボ研究室ツアー

日時：令和5年8月9日（水） 9：55～12：10

場所：千葉工業大学津田沼キャンパス2号館3階大教室

参加者：31名

講師：千葉工業大学未来ロボット技術研究センター fuRo 研究者 戸田 健吾先生
千葉工業大学 未来ロボティクス学科の研究室の皆さん



講師の戸田先生



ロボットによるサッカー大会 (RoboCup) のようす

自動運転技術もどんどん進化しています。



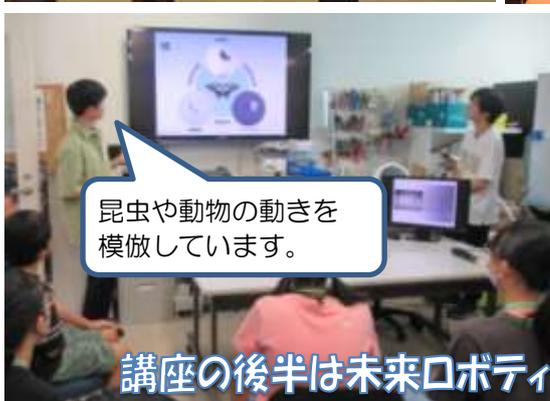
fuRo で開発された次世代の乗り物



東日本大震災の時に活躍したロボットです。



ロボット技術がどんなに進歩してもどう使うかを決めるのは人間です。



昆虫や動物の動きを模倣しています。



講座の後半は未来ロボティクス学科の研究室を見学させていただきました

【受講生の感想】

- 自分が思っていたよりもロボットは生活の中で多くの役に立っているということがわかりました。災害などで人間が入れない所などでロボットが使われていたり、人型のロボットも、すでにいろいろな事が出来るようになっていたりすることを知り、ロボット技術の進歩の早さに驚きました。
- 身の周りにあるロボットがどのように作られているのかや自分の知らなかった最新技術について学ぶことができ、楽しかったです。自動運転の技術が実用化され、今後、世界に広まると聞いてとても楽しみになりました。
- 今までにはロボットがどのように作られているのかや、どのように使われているのかがあまり分らなかったが、今回いろいろな先生のお話を聞き、ロボットを作る大切さや使い方などロボットに対してさらに関心が高まるようなトピックを知ることができた。
- ロボットは人生を豊かにするためにつくられているものだということ学びました。ロボットは使い方によっては人生を豊かにする反面、兵器にもなってしまうということがわかり、扱う人が大切なのだ改めて感じました。講義のあとの研究室ツアーでは動物から、ロボットをつくる際のヒントを得ていたりして身近なものに科学は隠れているのだということ学ぶことができました。
- 最初の講義で、ロボットには目的や状況に応じていろいろな形があることを知りました。もともと車やロボットに興味があったのでとても楽しく、ためになりました。これからの社会や Society5.0 がもっと楽しみになりました。研究室ツアーもとてもよかったです。
- 生体模倣やマッピングしながら動くロボット、3Dプリンターなど珍しい物が多く、説明もわかりやすかったです。3Dプリンターについて質問した時、詳しく教えてくださり、前よりも興味がわきました。